

		解 答	解 説
1	(1)	① 斑晶	石基も斑晶も鉱物。急に冷やされたため、成長できずに固まった鉱物が石基で、冷やされる前から成長し始めていた鉱物が斑晶。
		② 石基	
	(2)	等粒状組織	等粒状組織は、ゆっくりと冷やされたため、すべての鉱物が成長して、大きくなっている。(どれもほぼ同じぐらいの大きさになっている。)
	(3)	地下深く	地下深くとは、具体的には、マグマだまり等を指す。
2	(1)	① 初期微動	ゆれの名称は、初期微動、主要動。ゆれを運ぶ波の名称は、それぞれ、P波、S波。
		② 主要動	
	(2)	7.2 km/s	速さを出すということは、使うのは、速さ = 距離 / 時間の公式しかありません。AB間、AC間、BC間のどれを使っても構いません。震源からの距離の差 = 2地点間の距離、ゆれXが始まった時刻の差 = ゆれXを伝える波が2地点間を進むのにかかった時間を表します。
	(3)	イ	ゆれXが始まってから、ゆれYが始まるまでの時間 = 初期微動継続時間 (P波とS波の到着時刻の差)。地点A~Cのそれぞれの初期微動継続時間を計算すると、初期微動継続時間が15秒の地点Pは、A地点とB地点の間にあることがわかる。
3	(1)	ウ	火山ガスには、硫化水素のような有毒ガスも含まれますが、実はそれらは微量 (微量でも危険) で、主成分としては、水蒸気です。
	(2)	有色鉱物	無色鉱物 (セキエイ、長石)、有色鉱物 (黒雲母、カクセン石、キ石、カンラン石)。
	(3)	① ア ② イ	マグマのねばりけと、① 火山の形、② 噴火のようす、③ 噴出物の色、④ 火山名 を連動させて覚えましょう。
4	(1)	イ	ふくまれる粒の形は、基本的には角ばっている。れき、砂、泥だけは、河川で運ばんされる間に角が取れるので、丸みを帯びている。うすい塩酸が関係する堆積岩は、石灰岩 (反応あり) とチャート (反応なし) である。
	(2)	しゅう曲	
5	(1)	断層	
	(2)	示準化石	各時代 (古生代、中生代、新生代第三期、新生代第四紀) の代表的な化石を2~3ずつ覚えておきましょう。
	(3)	ウ	サンゴの あたたかく、浅い、海 (3つのキーワードが入っていること!) は必ず覚えよう。
6	(1)	噴火	起こったことは、火山ではなく、火山の噴火である。
	(2)	イ	凝灰岩の層 (かぎ層) に注目する。A、B、C地点の凝灰岩の層はつながっています。つまり、A、B、C地点の凝灰岩の層が堆積した時代は同じということです。また、地層は、下の層ほど古い。だから、凝灰岩の層を基準に、そこから上、または下に何層目なのかを比べれば、新旧がわかる。

	(3) 南	<p>凝灰岩の層(かぎ層)に注目する。ABC地点の凝灰岩の上端の標高を、それぞれ求めて比べる。具体的には、</p> <p>① ABCの柱状図の上端(地表面)の標高を、等高線(図2)から読み取り、ABCの柱状図の横にそれぞれ記入しておく。</p> <p>② ABCの柱状図について、凝灰岩の上端の深さを柱状図からそれぞれ読み取る。</p> <p>③ ①の値から②の値を引き算した値が、凝灰岩の上端の標高である。これも、ABCの柱状図の横にそれぞれ記入しておく。</p> <p>④ ③(凝灰岩の上端の標高)が等しい地点どうしは、地下の地層が水平に堆積しているということになります。</p>
--	----------	--